



小学生、中学生に読んでもらいたい記事をのせています。読めない字があったら、おうちの人に教えてもらってね。

私たちの身近な文化財

青梅街道

小平市域には、その中心を東西に貫く大きな道が通っています。市民の皆さんには大変なじみの深い「青梅街道」です。この道路ができたのは、ある歴史上の出来事がきっかけでした。

天正18年(1590年)、日本を統一した豊臣秀吉は、当時天下を争ったライバルの徳川家康に、その領地である三河(愛知県)・駿河(静岡県)から関八州(関東地方)への領地替えを命じました。当時、東日本は西日本と比べると開発の遅れた地域であったため、家康は江戸を本拠地と定めて、その開発に着手します。秀吉の死後、慶長5年(1600年)に関ヶ原の戦いが起きると、家康は豊臣勢力に勝利し全国支配の実権をにぎり、江戸に幕府を開きます。これにより江戸は日本の政治の中心地となり、城下町の整備が進められました。

慶長9年(1604年)より江戸城の改修工事がはじまり、家康は日本各地の大名に天守閣や石垣工事を行わせました。こうした工事に漆喰の原料となる大量の石灰が必要になったことから、産地である青梅市から江戸へ石灰を運ぶ道路が整備されました。これが青梅街道です。青梅街道は青梅から内藤新宿(現在の新宿区)まで11里(44km)の道のりで、途中、箱根ヶ崎(瑞穂町)・田無(西東京市)・中野(中野区)に宿駅がおかれしました。小平市域は七か所へ向かう道が交わる重要な場所でしたが、水が得られないため人家がない野原のようなところでした。加えて箱根ヶ崎から田無までは距離が長かったため、天気によっては街道を行きかう人馬が行き倒れることもあり、ここに中継ぎ村がないのは不便でした。

当時岸村(現在の武蔵村山市)に住み、この様子を見ていた小川九郎兵衛は、明暦2年(1656年)に石灰運搬の伝馬継ぎ(荷物を運ぶ馬を用意しておく、荷物を運んできた馬を交代させて次の目的地へ送り出す荷役)を務める

ことなどを条件に、幕府にここでの開発を願い出ます。この願いは認められ、九郎兵衛は新田を開きます。これが小平市の発祥となる小川村です。九郎兵衛が開発を願い出た理由には、その3年前の承応2年(1653年)に青梅街道のすぐ南沿いに玉川上水が造られ、この地で水が得られるようになったこともあったと思われます。開発は青梅街道沿いに行われたため、村は街道に沿って東西に広がることになりました。延宝2年(1674年)頃に描かれた「小川村地割図」を見ると、図の中央を左右に貫くように太い道路が描かれ、その両脇に民家と細長い長方形の短冊形の土地区画が並んでいるのがうかがえます。

その後、青梅街道は舗装されたり道幅を広げられたりしましたが、道筋は昔のまま変わっていません。小平市は、この小川村を中心に、その後に東側で開かれた新田集落を合併してできました。青梅街道が市域の中心を背骨のように貫いて通っているのは、徳川家康の関東への領地替えと江戸の開発、そして小平市の起源となる新田開拓の歴史の積み重ねの結果なのです。



〈小川村地割図〉延宝2年(1674年)頃



小平市 平櫛田中彫刻美術館

KODAIRA HIRAKUSHI DENCHU ART MUSEUM

開館時間 午前10時～午後4時 ※なるべく、午後3時30分までに入館してください。
休館日 火曜日。ただし、4月30日(火)は開館。
観覧料 一般…300円(220円)、小・中学生…150円(110円) ※カッコ内は、団体20人以上です。
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098 ※駐車場をご利用の方はご相談ください。

企画展「平櫛田中と収集一新収蔵作品初公開」

平成29年度に、平櫛田中作の大型木彫作品《浮彫天部像》(4幅一組)が美術館に寄贈されました。この作品は、平櫛田中の美術品収集を支えた古美術店「不言堂」の創業者坂本五郎氏のゆかりの作品です。

平櫛田中は美術骨董をはじめ、同時代の作家の作品まで幅広い美術品の収集を楽しみました。展覧会では、平櫛田中の「収集」活動をテーマに、坂本氏にゆかりのある美術品をはじめとした「平櫛田中コレクション」を紹介します。

と き 5月19日(日)まで

▷「誕生仏展示」

記念館では、4月15日(月)まで、お釈迦様の生誕を祝う「灌仏会」の時期にあわせて、平櫛田中が制作した《南無誕生仏》を展示します。



平櫛田中作 〈浮彫天部像〉

▷春のお茶会

平櫛田中が愛した庭園で、おいしい抹茶とお菓子をお楽しみいただけます。

と き 4月19日(金)～21日(日)

午前10時～午後3時

ところ 平櫛田中彫刻美術館庭園(荒天の場合は室内)

費用 1席300円(別途、観覧料が必要です)

※各日、先着60人

協力 小平茶道華道友の会

▷桜草の展示…4月17日(水)～24日(水)

▷わくわく体験美術館ウィーク

期間中は、小・中学生のみ無料で観覧できます。(同伴の保護者の方は観覧料が必要)楽しいワークシートを用意しています。

と き 4月20日(土)～5月6日(月) 午前10時～午後4時

対象 小・中学生



江戸東京150年関連文化財特別展「鈴木遺跡と江戸東京」

現在、国指定史跡化を目指している鈴木遺跡は、今から3万数千年前から1万数千年前まで営まれた、日本を代表する後期旧石器時代の遺跡で、石神井川のかつての水源部を取り巻くように広がる都内でも最大級の遺跡です。

特別展では、発掘調査で発見された江戸時代の薬容器や、昭和初期の茶碗などの展示を行います。

江戸から東京に移り変わる時期の小平の歴史の一側面を物語る鈴木遺跡について、最新の分析結果とともに紹介しています。

と き 5月22日(水)までの水曜・土曜・日曜・祝休日 午前10時～午後4時

ところ 鈴木遺跡資料館展示室(鈴木町1-487-1)

入館料 無料

中学校生徒意見発表会

1月8日(火)に、ルネこだいら大ホールで開催され、市内中学校9校の代表生徒が、それぞれの考えを自分の言葉で堂々と発表しました。

また、当番校の花小金井南中学校生徒会は、意見発表会のサブタイトル「伝えたい 僕らの思い」の考案やポスター原画作成のほか、当日の司会や舞台運営を担い、大いに活躍してくれました。

発表文集は、小平市ホームページからご覧いただけます。

〈地域学習支援課〉



〈発表生徒の皆さん(前列)と花小金井南中学校生徒会の皆さん(後列)〉

問合せ 地域学習支援課 ☎042(346)9834